

令和6年度 計画変更

県営土地改良事業変更事業計画書

(農業用排水施設)

要綱事業名

水利施設等保全高度化事業 (水利施設整備事業)

沖 縄 県

地区名 : 伊江西部

所在地 : 伊江村

事業主体 : 沖縄県

県営伊江西部地区土地改良事業 事業計画書

目 次

	第1章 目的	-----	1
平成31年/	第2章 地域及び地積	-----	1
	第1節 地域	-----	1
	第2節 地積	-----	1
	第3章 現況	-----	2
県営土地改良事業	第1節 気象及び海象	-----	2
	1. 一般気象	-----	2
	2. 特殊気象 (該当なし)	-----	2
	3. 海象	-----	3-1
	第2節 土地状況	-----	3-1
	1. 地形、土壌及び浸食の程度	-----	3-1
	2. 土地分類 (該当なし)	-----	4
	3. 土地の利用状況	-----	5
	4. 土地所有の状況	-----	6
	第3節 水利状況	-----	7
	1. 用水状況	-----	7
	2. 排水状況 (該当なし)	-----	10
	3. 河川状況 (該当なし)	-----	13
	第4節 道路現況	-----	14
	1. 道路概況	-----	14
	2. 主要道路一覧 32	-----	14
	第5節 地域農業の概況	-----	14
	1. 産業別就業人口	-----	14
	2. 経営耕地狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	-----	15
	3. 動力器具及び主要家畜頭数	-----	16
	4. 主要作物付状況	-----	17
	5. 農業の動向	-----	18
	第6節 地域環境の現況	-----	19
第4章	一般計画	-----	20
	第1節 事業計画の要旨	-----	20
	1. 要旨	-----	20
	2. 事業別面積	-----	20
	第2節 営農計画及び土地利用計画	-----	21
	1. 営農計画の概要	-----	21
	2. 土地利用区分	-----	21
	3. 作付方式	-----	22
	4. 生産計画	-----	23
	5. 労働改善計画	-----	24

第5章	主要工事計画	-----	46
	第1節 用水施設	-----	46
	1. 貯水池（該当なし）	-----	46
	2. 頭首工（該当なし）	-----	46
	3. 揚水機（該当なし）	-----	47
	4. 用水路（該当なし）	-----	48
	5. その他かんがい施設	-----	48
	第2節 排水水門（該当なし）	-----	49
	1. 排水水門	-----	49
	2. 排水機	-----	49
	3. 排水路	-----	50
	4. その他	-----	50
	第3節 道路及び索道（該当なし）	-----	51
	1. 道路	-----	51
	2. 索道	-----	52
	第4節 農用地造成（該当なし）	-----	53
	1. 農用地造成工	-----	53
	2. 土壌改良	-----	54
	第5節 洪水調整施設（該当なし）	-----	55
	1. 貯水池（該当なし）	-----	55
	2. 頭首工及び導水路	-----	55
	第6節 干拓施設（該当なし）	-----	56
	1. 堤防	-----	56
	2. 潮止め	-----	56
	3. 付属施設	-----	56
	4. 埋立	-----	56
	第7節 農用地整備施設（該当なし）	-----	57
	1. 区画整理	-----	57
	2. 暗渠排水	-----	58
	3. 客土	-----	59
	4. 除礫	-----	59
	5. 農地保全	-----	59
	第8節 老朽ため池改修施設（該当なし）	-----	61
	1. 貯水池（該当なし）	-----	61
	2. 堤体補強施設	-----	61
第6章	附帯工事計画（該当なし）	-----	62
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	62
第8章	環境と調和への配慮の考え方	-----	63

6. 級地別土地利用区分 (該当なし)	-----	25
7. 土地配分計画 (該当なし)	-----	26
第3節 用水計画	-----	27
1. 計画基準年	-----	27
2. 計画かんがい方式	-----	27
3. 計画用水系統	-----	27
4. 計画用水量	-----	28
5. 水源計画 (該当なし)	-----	29
第4節 排水計画 (該当なし)	-----	32
1. 計画基準雨量	-----	32
2. 計画排水方式	-----	32
3. 計画排水系統	-----	32
4. 計画排水量	-----	32
5. 排水対策	-----	33
6. たん水検討	-----	35
第5節 道路計画	-----	36
1. 道路及び索道	-----	36
2. 路線配置図	-----	37
第6節 農用地造成計画 (該当なし)	-----	38
1. 農用地造成計画	-----	38
2. 土壌改良	-----	38
第7節 洪水調整計画 (該当なし)	-----	39
1. 計画基準雨量	-----	39
2. 計画洪水量及び調整量	-----	39
3. 貯水池	-----	39
4. 洪水調節検討	-----	40
5. 管理計画	-----	40
第8節 干拓計画 (該当なし)	-----	41
第9節 農用地整備計画 (該当なし)	-----	42
1. 区画整理	-----	42
2. 暗渠排水	-----	43
3. 客土	-----	44
4. 農地保全	-----	44
第10節 老朽ため池改修計画 (該当なし)	-----	45
1. 洪水吐改修計画	-----	45
2. 堤体補強計画	-----	45
3. 取水施設改修計画	-----	45

第9章	換地計画の概要（該当なし）	-----	64
	第1節 換地計画をする上での基本的な考え方	-----	64
	第2節 換地の設定	-----	64
	1. 換地区の名称、所在、面積	-----	64
	2. 換地区を設定する理由	-----	64
	第3節 換地計画樹立の基本方針	-----	64
	1. 従前の土地の地積の基準	-----	64
	2. 用途別予定地積	-----	65
	3. 農用地集団化の方針	-----	67
	4. 非農用地換地の方法	-----	67
	第4節 土地の評価及び精算の方法	-----	67
	1. 評価の方法	-----	67
	2. 精算の方法	-----	67
	第5節 換地計画書樹立の年度計画	-----	67
	第6節 換地処分の時期に関する特則	-----	67
第10章	事業費の総額及び内訳	-----	68
第11章	効用	-----	69
第12章	関連する事業	-----	70
第13章	現況・計画平面図	-----	70
	1. 現況平面図	-----	70
	2. 計画平面図及び土地利用計画図	-----	70
	3. 主要構造図	-----	70

第1章 目 的

本地区は、沖縄本島北部、本部半島の北西約9kmに位置する伊江島の中央部に位置する畑作物地帯である。さとうきび、葉タバコを基幹作物とし、近年、野菜やキク等が作付けされている。

畑作に必要な用水は、降雨と既設のため池に依存せざる得なく十分な用水手当がなされていないため、農業生産が不安定であり、農業振興の妨げになっていることから、畑かん施設の整備が急務となっている。

このため、国営かんがい排水事業で築造した地下ダムの水源を利用し、本事業で末端かんがい施設を整備することにより、安定的なかんがい用水を確保し、農業生産性の向上及び農業の近代化を図り、農業経営の安定に資することを目的とする。

伊江西部地区の給水栓は、当初、標準配置(40m)を基本に位置及び個数を決定した。しかし、実施設計において各所有筆毎に設置してほしいとの受益者の強い意向が示されたこと。また、施工時においても受益者の立ち合い等によって設置位置を協議したことで、給水栓の個数が大幅に増加した。

給水栓の増加及び位置の変更は、幹線・支線管水路にも影響するため、給水栓の増加に伴い管水路の延長も長くなった。

実施設計では、国営西幹線送水路（国営1号FP～寺前1号貯水池）の寺前ファームポンド隣接地に、緊急時対応分土工を設置したことにより増となった。これは、寺前1号ファームポンド加圧ポンプ及び寺前1号貯水池送水機場に故障が発生した場合に、国営1号ファームポンドの水圧を活用して、受益地又は寺前ファームポンドへ地下ダム水の送水を目的としたものである。

既設管水路の撤去について、当初は県道下のみの計画であったが、受益者から全部撤去して欲しいとの要望が出たこと、また（一社）日本建設業連合会発行2020年の「既存地下工作物の取り扱いに関するガイドライン」を適用したことにより既設管全撤去（県道・村道・農道・ほ場内）と大幅な増となった。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設	沖縄県伊江村東江上・西江上・西江前

第2節 地 積

(平成23年10月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用排水施設			91.1				91.1	
	計		91.1				91.1	
	計							
合 計			91.1				91.1	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	名護観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	昭和41年～令和4年	1月～12月	月～月	又は平均	
平均気温(℃)		22.8℃	-℃	22.8℃	
降雨量	平均(mm)	2,120.7mm	-mm	2120.7mm	
	基準年(mm)	1,359mm	-mm	1358.5mm	平成5年
降水日数	平均(日)	133日	-日	133.0日	
	基準年(日)	120日	-日	120.0日	平成5年
根雪期間	なし				
無霜期間	1月1日～12月31日 365日間				
最多風向	最大風速 (風向)	36.2 m/s (S)	最多風向発生時期 最大風速発生日月	11月～5月 2011/5/28	

2. 特殊気象

(2-1)

(第3表-2)

観測所名 名護観測所	第1位			第2位			第3位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
観測期間 昭和41年～令和4年									
最大日雨量 (mm)	458	S44.10.7	1/533	379	H26.10.11	1/14	378	H23.8.5	1/13
最大時間雨量 (mm)	109	S44.10.7	1/74	98	R3.4.2	1/39	97	S47.8.11	1/23
最大4時間雨量 (mm)	197	S44.10.7	1/199	168	S47.7.22	1/58	132	H10.10.4	1/12
最大連続雨量 (mm)	682	S44.10.3	1/83	526	S60.8.18	1/24	507	S53.8.22	1/21
最大連続干天日数(日)	57	H1.3.18	1/199	43	H3.6.21	1/21	40	S63.11.16	1/13

(2-2)

(第3表-2)

観測所名 名護観測所	第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和40年～平成12年							
最大日雨量 (mm)	274	H9.8.7	1/8	234	S59.8.19	1/6	
最大時間雨量 (mm)	91	S60.8.14	1/15	79	S46.6.12	1/9	
最大4時間雨量 (mm)	124	S60.8.14	1/9	117	S53.8.15	1/7	
最大連続雨量 (mm)	425	H12.8.4	1/11	421	H11.9.23	1/10	
最大連続干天日数(日)	38	S56.7.13	1/10	35	H11.11.22	1/6	

3. 海 象 該 当 な し

(第3表-3)

観測所名		既往最高 測 位 (m)	さく望平 均満潮位 (m)	上下弦平 均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位 (m)	さく望平 均干潮位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	年～								
								()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(2-1)

(第4表-1-1)

事業名	地目	田					計
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	
排農業 水施用 設用	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率	—	—	—	—	—	—
	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率	—	—	—	—	—	—
合計	面積 (ha)	—	—	—	—	—	—
	比率	—	—	—	—	—	—

(2-2)

(第4表-1-1)

事業名	地目	畑・その他					受益地標高		備考	
		3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高 (m)		最 低 (m)
排農業 水施用 設用	面積 (ha)	91.1			—	—	91.1	75.0	65.0	
	比率	100.0%			—	—	100%			
	面積 (ha)									
	比率									
合計	面積 (ha)	91.1	—	—	—	—	91.1	75.0	65.0	
	比率	100.0%	—	—	—	—	100%			

(第4表-1-2)

項目 土壤等区分 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考			
	土 壤 断 面							推 積 様 式	母 材	事 業 名					
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈澱物	土 性					泥炭層 黒泥層 及 グレイ層	農 業 用 水 施 設 排		計		
					表土 一層	下層土 二層	三層								
多良間統	褐色	なし	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	琉球 石灰岩	84.3		84.3		
摩文仁統	褐色	なし	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	琉球 石灰岩	6.8		6.8		
計														91.1	

(2-1) 該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上
	面積(ha)								
	比率(%)								

(2-2)

(第4表-1-3)

事業名	区分	ガリ浸食の程度		備考
		中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)			
	比率(%)			

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

級地別	農用地造成										計	備考	
	一級地	二級地			三級地			四級地					
		※	3° ~ 8°	8° ~ 12°	12° ~ 15°	※	15° ~ 20°	20° ~ 25°	25° ~ 30°	※	30° 以上	(ha)	
市町村名		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
計													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干 拓				計	備考
	一級地	二級地	三級地	四級地		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	

3. 土地利用の状況

(令和4年現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
排農業 水施用 設用	伊江村	-	91.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91.1	
	計	-	91.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91.1	
	計													
合	計													

4. 土地所有の状況

(令和6年8月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有	企業有	字有	村有	国有	計	備考
	区分							
排農 水業 施用 設用	面積 (ha)	91.1	—	—	—	—	91.1	
	受益者数 (人)	282	—	—	—	—	282	
	筆数 (筆)	661	—	—	—	—	661	
	権利関係	所有・使用 賃借権	—	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	282	—	—	—	—		
	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考 (関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	91.1	—	—	—	—	91.1	
	受益者数 (人)	282	—	—	—	—	282	
	筆数 (筆)	661	—	—	—	—	661	
	権利関係	所有・使用 賃借権	—	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	282	—	—	—	—	282	

第3節 水利状況

1. 用水状況 寺前1号貯水池、寺前2号貯水池

(1) 用水系統 }
 (2) 用水施設 } 別紙参照

(ア) 取水方法一覧表

(2-1)

(第5表-1)

事業名	項目	かんがい面積						計	
		500 ha以上		500 ~ 100 ha		100 ha未満		箇所	ha
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha		
排農業 施用 設用	貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—
	井堰	—	—	—	—	—	—	—	—
	自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—
	用水路	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	1	91.1	1	91.1
	計	—	—	—	—	1	91.1	1	91.1
	計								
合	計								

(2-2)

(第5表-1)

事業名	項目	水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
排農業 施用 設用	貯水池						
	井堰						
	自然取水口						
	揚水機						
	用水路						
	その他						
	計						
	計						
合	計						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
団体 営かんがい 排水事業	貯水池	—	—	—	—	—	—	—
	井堰	—	—	—	—	—	—	—
	自然取水口	—	—	—	—	—	—	—
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—
	用水路	—	—	—	—	—	—	—
	その他	管水路	78.4	—	—	令和8年	送水量の増加	—
	計	—	78.4	—	—	—	—	—
	計							
合 計	—	78.4	—	—	—	—	—	

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(2-1)

(第5表-3-1)

事業名	項目	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量	
				平 均 (m ³ /s)	基 準 年 (m ³ /s)	平 均 (千m ³)	基 準 年 (千m ³)
系統名							
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-1)

事業名	項目	平均減産量		備 考
		作物名	減産量 (t)	
系統名			(t)	
	計			
	計			
合 計				

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

県営(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(2-1)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)		
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設
	計						
	計						
合	計						

(2-2)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害額 (百万円)			備考
	公共 施設	家屋 その他	計	
合				

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積					
			ha以上		～		ha未満	
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	計							
合計								

(2-2)

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		計		排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
			箇所	ha			
	自然	排水路					
		水門					
	機械	排水機					
		水門及び排水機					
		排水路及び排水機					
	計						
	計						
合計							

(イ) 改修を要する施設一覧表

(2-1)

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模
	施設名					
	自然	排水路				
		水門				
	機械	排水機				
		水門及び排水機				
		排水路及び排水機				
	計					
	計					
合計						

(2-2)

(第5表-5)

事業名	項目		新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名				
	自然	排水路			
		水門			
	機械	排水機			
		水門及び排水機			
		排水路及び排水機			
	計				
	計				
合計					

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(2-1)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田	
								乾	湿
			平均						
			基準年						
	計		平均						
			基準年						
合計			平均						
			基準年						

(2-2)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	乾湿状況 (ha)				平均減産量		備考
		畑		その他		作物名	減産物 (t)	
		乾	湿	乾	湿			
								計
	合計							

3. 河川状況 該当なし

(1) 河川状況

(2-1)

(第5表-7)

項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)

(第5表-7)

項目	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
河川名		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
区分					
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況

本村の主要幹線道路は、県道180号線、県道181号線、県道225号線の3路線であり、これらに村道が接続し道路網を形成している。

2. 主要道路一覧表

(2-1)

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)	
				全長	有効
	県道180号伊江川平線	-	1,060	-	-
	県道181号伊江島空港川平線	-	4,240	-	-
	県道225号伊江島環状線	-	17,530	-	-

(2-2)

(第6表)

No	構造	改修の要否	備考
	As	-	
	As	-	
	As	-	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(2-1)

(第7表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱 供給水道業
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
伊江村	2,218	735	1	43	2	203	85	2
計	2,218	735	1	43	2	203	85	2
比率(%)	100.0%	33.1%	0.0%	1.9%	0.1%	9.2%	3.8%	0.1%

(2-2)

(第7表-1)

項目	運輸通信業	卸売飲食店 小売業	金融 不動産 保険業	サービス業	公務	その他	合計	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
伊江村	60	421	9	62	149	446	2,218	
計	60	421	9	62	149	446	2,218	
比率(%)	2.7%	19.0%	0.4%	2.8%	6.7%	20.1%	100.0%	

(総務省統計局「国勢調査報告」R2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(3-1)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数(戸)							
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0
伊江村	366.0	6.0	28.0	119.0	49.0	36.0	36.0	47.0	42.0
計	366.0	6.0	28.0	119.0	49.0	36.0	36.0	47.0	42.0
比率(%)	100%	1.6%	7.7%	32.5%	13.4%	9.8%	9.8%	12.8%	11.5%

農業関係統計R3(2015センサス調査) P127

(3-2)

(第7表-2)

区分 市町村名	経営耕地広狭別農家数(戸)			1戸当たり平均 農用地面積(ha)					
	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるもの	田	畑	樹園地	小計	草地	計
伊江村	2.0	-	-	0.0	991.0	0.0	991.0	0.0	991.0
計	2.0	0.0	0.0	0.0	991.0	0.0	991.0	0.0	991.0
比率(%)	0.5%	0.0%	0.0%	-	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

農業関係統計R3 P122

(3-3)

(第7表-2)

区分 市町村名	耕地の 分散状況		専兼業別 農家数(戸)			合計	備考
	一戸当 り団地数	団地当 り面積 (ha)	専業	兼業			
				第一種	第二種		
伊江村	-	-	241	61	58		
計	-	-	241	61	58	360	
比率(%)	-	-	66.9	16.9	16.2	100	

農業関係統計R3(2015センサス調査) P155

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(3-1)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	トラクター		防除機		スプレー		ホウキ刈取機	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)
伊江村	402	281						
計	402	281						
100戸当たり 数量 (台、頭)	143							
利用戸数 割合 (%)	69.9							

(2015年農業センサス)

(3-2)

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜							
	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏	
	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
伊江村	2,750	137	32	1	3	3	50	2
計	2,750	137	32	1	3	3	50	2
100戸当たり 数量 (台、頭)	2,007		3,200		100		2,500	
利用戸数 割合 (%)	5.0		3.1		100.0		4.0	

(3-3)

(第7表-3)

項目 市町村名	備考
伊江村	
計	
100戸当たり 数量 (台、頭)	
利用戸数 割合 (%)	

・農業関係統計R3(R1調査) P192～195

・センサス2020

4. 主要作物付状況

(2-1)

(第7表-4)

市町村名			伊江村				計	平均
総耕地面積 (ha)			1,080					p120
総本地面積 (ha)								
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)
	表作	裏作						
田	表作	—	—	—			—	—
	裏作	—	—	—			—	—
小計								
畑	基幹	サトウキビ	72	7,137			72	7,137
	葉たばこ	葉たばこ	207	48,028			207	48,028
	花卉	花卉	95	2,643本			95	2,643本
	野菜	野菜	45	3,358			45	3,358
	小計			419			419	
樹園地								
	小計							
計			419					
市町村別延べ作付率 (%)								

(2-2)

(第7表-4)

市町村名			作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)				
総本地面積 (ha)				
作物名	区分			
	表作	裏作		
田	表作	—	—	
	裏作	—	—	
	小計			—
畑	基幹	サトウキビ	17%	P171
	葉たばこ	葉たばこ	49%	P188
	花卉	花卉	23%	P190
	野菜	野菜	11%	P175
	小計			100%
樹園地				
	小計			
計				
市町村別延べ作付率 (%)				

農業関係統計R3

5. 農業の動向

(2-1)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	農 家			土 地			主 要 作 物		
		B	A		B	A	作物名	B	A
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	93.6	72.3	耕地	99.3	94.1	さとうきび	157.1	122.1
	専業農家	100.0	89.9	田	0.0	0.0	葉たばこ	40.3	29.9
	第一種兼業 農家数	56.5	71.8	畑	99.3	94.1	花卉	70.2	86.9
	第二種兼業 農家数	91.3	84.1	樹園地	200.0	200.0	野菜	78.3	71.7
	農業 従事者数	83.8	74.5	牧草地	119.9	125.9			
変化の理由									

(2-2)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備 考
	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	乳用牛	98.2	-	トラクター	86.2	88.4	農業振興地域 1,451ha 昭和48年度 指定	A：平成27年 (2015) B：平成22年 (2010) C：平成17年 (2005)
	肉用牛	72.3	61.9	動力防除機				
				スปี-드*スプレー				
変化の理由								

(2005-2015年農業センサス)

第6節 地域環境の状況

1. 伊江西部地区の環境概要

さとうきび、葉たばこを基幹とし、野菜、花卉（キク）等が作付けされている。伊江島には、河川は無いものの、近年では農業・生活雑排水などの流入や、異常降雨時の部分的な土砂の流出等により、海や溜池の汚濁が進み浄化対策が課題となっている。また、北海岸の隆起サンゴ礁海浜植生のハダ植物群落と城山周辺の植生が、特定植物群落として指定されている。

2. 伊江村の環境概要

(第2表-5)

環境要素		項目		特記事項・概略説明		
自然環境	植物	貴重種	群落	2種	伊江島北海岸の隆起珊瑚礁海浜植生、城山の周辺の植生、その他	
		哺乳類	貴重種	2種	ワタセジネズミ、オライオオコウモリ	
	鳥類	貴重種	1種	ツバメチドリ		
	爬虫類	貴重種	2種	クメジマハイ、マダラトカゲモドキ		
	両生類	貴重種	0種			
	昆虫類	貴重種	1種	オキナワキリギリス		
	甲殻類	貴重種	0種			
	淡水魚類	貴重種	0種			
社会的環境	自然環境保全に関する規制	自然公園地域		・該当 有 (無)		
		自然環境保全地域		該当なし		
		鳥獣特別保護地区		該当なし		
		風致地区		該当なし		
	文化財保護に関する指定	史跡	・国指定 1件		・県指定 3件 ・市町村指定 2件	
		名勝	国指定		該当なし	
			県指定		伊江村城山	
			市町村指定		ワジ景勝地	
		天然記念物	国指定		該当なし	
			県指定		マダラトカゲモドキ	
	市町村指定		ハダ植物群落			
	埋蔵文化財包蔵地		貝塚、遺跡（洞穴、集落跡等）、鹿化石出土等			
	土地利用に関する規制	農業振興地域		1,451 ha	指定年月日：昭和48年3月29日	
		農用地区域		779 ha	当初計画策定年月日：昭和49年3月26日	
		森林地域		119 ha		
地域森林計画対象民有林		119 ha				
保安林		57 ha				
水利用状況	河川区域（二級河川）		該当なし			
	河川区域（準用河川）		該当なし			
	湧水・井戸		湧出（ワジ）水源			

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業により、畑地かんがい施設整備（91.1ha）を実施し、生産性の向上、地域農業の活性化を目指すものである。

2. 事業別面積

(2-1)

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	農業用排水施設					
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園		小計
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)
畑地かんがい	—	91.1	—	—		91.1
計	—	91.1	—	—		91.1

(2-2)

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	水田	普通畑	牧草畑	果樹園		小計	計	備考
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)		
	畑地かんがい	—	—	—	—		—	91.1
計	—	—	—	—		—	91.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の計画作物は、施設整備後、農業用水の安定供給が可能となり、単収の増、高収益作物への転換が見込まれることから、基幹作物の「**トウモロコシ**」を中心に、施設作物、露地野菜、牧草、葉たばこを作付けする営農計画とする。

2. 土地利用区分

(2-1)

(第9表-1)

事業名	土地利用区分		田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	小計
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
農業用排水施設	現況		—	91.1	—	—	—	91.1
	計画		—	91.1	—	—	—	91.1
	現況		—	—	—	—	—	—
	計画		—	—	—	—	—	—
計	現況		—	91.1	—	—	—	91.1
	計画		—	91.1	—	—	—	91.1

(2-2)

(第9表-1)

事業名	土地利用区分		原野	山林	その他	計	備考
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設	現況		—	—	—	91.1	
	計画		—	—	—	91.1	
	現況		—	—	—	—	
	計画		—	—	—	—	
計	現況		—	—	—	91.1	
	計画		—	—	—	91.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												備考		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
農業用排水施設	現況・計画	さとうきび(夏植)	普通畑									◎	◎					
		さとうきび(株出し)	普通畑	××	××													
		たばこ	普通畑		◎	◎		××	××	××								
		とうがん	普通畑	◎	◎		××	××					◎	◎		××		
		いんげん	普通畑	×◎	◎	××	××						◎	◎	××	××		
		電照菊 12月・4月出し	普通畑			××	××					◎	◎				××	
		電照菊 1月出し	普通畑	××									◎	◎				
		電照菊 2月出し	普通畑		××									◎	◎			
		電照菊 3月出し	普通畑			××									◎	◎		
		さといも	普通畑				××	××					◎	◎				
		かんしょ	普通畑					◎	◎					××				
		にがうり (露地)	普通畑					◎	◎			××	××					
		にがうり (施設)	普通畑					◎	◎			××						
		チンゲンサイ	普通畑					◎	◎			××						
		マンゴー	樹園地									××	××					
ローズグラス	飼料畑				◎	◎	××	××	××	××	××	××	××	××	××			

※◎◎：植え付け及び移植 ××：収穫
 (現況と計画の作付体系は変わらない)
 ——— 作物の作付状況

4. 生産計画

(2-1)

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 91.1 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減
農業用排水施設	普通畑		さとうきび	33.2	6.8	-26.4	36	8	6,563	9,845	3,282
			たばこ	24.5	34.1	9.6	27	37	210	227	17
			輪菊	8.7	23.9	15.2	10	26	46,300	46,300	-
			飼料作物	15.2	11.2	-4.0	17	12	10,202	12,242	2,040
			野菜	12.4	56.0	43.6	14	61			
		計	94.0	132.0	38.0	103	145				
合計				94.0	132.0	38.0	103	145			

(2-2)

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
農業用排水施設	普通畑		さとうきび	2,179	669	-1,509	-1,733	223	
			たばこ	51	77	26	20	6	
			輪菊	4,028	11,066	7,038	7,038	0	
			飼料作物	1,551	1,371	-180	-408	228	
			野菜	0	0	0	0	0	
		計							
合計									

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(2-1)

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)		
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地
農 地	田								
	輪換耕地								
	畑								
	(普通畑)								
	(牧草畑)								
	樹園地								
	(果樹園)								
	(桑園)								
	その他								
	計								

(2-2)

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	干拓 (ha)		合 計
		四級地	計	
農 地	田			
	輪換耕地			
	畑			
	(普通畑)			
	(牧草畑)			
	樹園地			
	(果樹園)			
	(桑園)			
	その他			
	計			

7. 土地配分計画 該当なし

(2-1)

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)				
		田	輪換耕地	畑		
				普通畑	牧草畑	樹園地
1年度新		()	()	()	()	()
入植		()	()	()	()	()

(2-2)

(第9表-6)

項目 区分				備考
			計	
増反	()	()	()	
入植	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

平成5年（1993年） （1/10年）

2. 計画かんがい方式

散水・マイクロかんがい方式（1月～12月）

3. 計画用水系統

別紙資料参照

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(2-1)

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用		
		事業名			普通畑 計画平均 単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき 単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	一日平均 かん水深 計画 (mm/日)	平均間断 日数 (日)	面積 (ha)
		農業用 排水施設	計	計						
国営1号FP	農業用水	91.1		91.1	—	—	—	—	—	—
計										

(2-2)

(第10表-1-1)

項目 系統名	畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考
	一日平均 かん水深 計画 (mm/日)	平均間断 日数 (日)	面積 (ha)	単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
国営1号FP	4.0	6	91.1			0.0398	15	0.31	0.63	
計										

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位 給水量 リットル/日	最大 給水量 リットル/日			
				計					

5. 水源計画 該当なし

(1) 水利用計画

(2-1)

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c = a - b (千m ³)	粗用水量 d = $\frac{c}{(1-a)}$ (千m ³)	現況利用可能水量		
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量
						e (千m ³)	f (千m ³)
計							

(2-2)

(第10表-2)

項目 区分	不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
	g = c - f (千m ³)	h = d - e (千m ³)		(千m ³)		
						損失率: α
計						

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(2-1)

(第10表-3)

項目	流域面積 (km^2)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (km^3)
	直接	間接	事業名			
					計	

(2-2)

(第10表-3)

項目	利用貯水量 (km^3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m^3/s)	備考
貯水池名				

(イ) 井堰及び自然取入口

(2-1)

(第10表-4)

項目	河川名	流域面積 (km^2)	かんがい面積 (ha)		
			事業名		
					計
取水施設名					
計					

(2-2)

(第10表-4)

項目	取水量 (m^3/s)		渇水量 (m^3/s)	備考
	最大	平均		
貯水池名				
計				

(ウ) 揚水機

(2-1)

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)	
		事業名			最大	平均
				計		

(2-2)

(第10表-5)

項目 名称	揚水機				備考
	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	

(エ) 用水路

(2-1)

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)
	事業名				
	農業用排水施設				
幹線管水路	91.1~14.4			0.08256	3.7
支線管水路	9.6~4.8			0.01180	12.9

(2-2)

(第10表-6)

項目 名称	構造	備考
幹線管水路	VP(RR)	
支線管水路	VP(RR), VH(RR)	

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

第4節 排水計画 該当なし

1. 計画基準雨量

2. 計画排水方式

3. 計画排水系統

4. 計画排水量

(2-1)

(第11表-1)

項目 取水施設名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)	
	事業名			山地	平地		山地	平地
	区画整理		計					
計								

(2-2)

(第11表-1)

項目 取水施設名	基底流出量 (m ³ /s/km ²)		山地	平地		単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
計								

5. 排水対策 該当なし

(1) 排水水門

(2-1) (第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2) (第11表-2)

項目 名称	排水本川			備考
	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
計				

(2) 排水機 該当なし

(2-1) (第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2) (第11表-3)

項目 名称	排水機				備考
	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
計					

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

(2) 索道 該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(2-1)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	面積 (ha)	土 壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)
			H ₂ O	KCl	

(2-2)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 該当なし

1. 計画基準雨量

2. 計画洪水量及び調節量

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /s)	備考 (m ³ /s)

3. 貯水池

(2-1)

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		(m ³ /s)	貯水量(千m ³)		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考

4. 洪水調節検討 該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離(km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画 該当なし

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{10^3}{t}/s/ha$)
	事業名					
			計			
計						

(2-2)

(第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
計			

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 分	土壌硬度	備 考
	事業名					
			計			
計						

3. 客 土 該当なし

(2-1)

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統 (区) 分	減水深 (mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土 壤 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 ($m^3/s/ha$)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単 位 排 水 量 ($m^3/s/ha$)	全 排 水 量 (m/s)	

(3) 浸食 (崩壊) 防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

1. 貯水池

(第17表-1)

名 称			
提 体	形 式	流域面積(km ²)	
		直接	間接
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	

(2-2)

(第17表-1)

位 置						
提 高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m ³)		備 考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工 該当なし

(2-1)

(第17表-2)

名 称			位 置		取水位 (m)
形 式	提 高 (m)	提 長 (m)			
		固定部	可動部	計	

(2-2)

(第17表-2)

名 称			備 考
形 式	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	

3. 揚水機 該当なし

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (台数 (台)	

4. 用水路

(2-1)

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延長 (m)		
	事業名				開きよ	トンネル その他	計
	農業用 排水施設		計				
【加圧路線】							
幹線1号				0.08256		1,854.3	1,854.3
幹線2号				0.04128		1,814.6	1,814.6
支線RB2				0.01180		1,701.5	1,701.5
支線RB1				0.00590		11,189.6	11,189.6
計							16,560.0

(2-2)

(第17表-4)

項目 水路名	構造	動水 勾配	主要構造物	備考
【加圧路線】				
幹線1号	管水路	0.003506	塩ビ管VP (RR)	φ 300, 250 200, 150
幹線2号	管水路	0.002363	塩ビ管VP (RR)	φ 250, 200
支線RB2	管水路	0.022951	塩ビ管VP (RR)	φ 100
支線RB1	管水路	0.025819	塩ビ管VP (RR)	φ 75
支線RB1	管水路	0.025819	塩ビ管VH (RR)	φ 75

第2節 排水水門 該当なし

1. 排水水門

(2-1)

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位	
				(m)	(m)
計					

(2-2)

(第18表-1)

項目 名称	排水路 (m ³ /s)	備考
計		

2. 排水機 該当なし

(2-1)

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表-2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力 ()	

第4節 農用地造成 該当なし

1. 農用地造成工

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径	ha当たり本数	面積	工法	備考
		(cm)	(本/ha)	(ha)		

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ	ha当たり標準除礫量	面積	工法	備考
	(cm)	(m^3/ha)	(ha)		
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目 区分	面積		工法	備考
	地目	造成工法		
		(ha)		
計				

(4) 地目交換

(第20表-4)

項目 区分	面積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数量	規模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数量	規模	構 造	備 考
計				

2. 土壤改良

(第20表-7)

項目 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調整機能 該当なし

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(2-1) (第21表-2)

名 称			位 置		
			提 長 (m)		
形 式	集水面積 (km ²)	提 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2) (第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1) (第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計

(2-2) (第21表-3)

項目 水路名	構 造	勾 配	備 考

第6節 干拓施設 該当なし

1. 堤防

(2-1)

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名称	構造		原地盤標高(m)		備考
	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め

(2-1)

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名称	最大流速 (m)	床固め構造	備考

3. 付属施設

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m ³)	施工方法	構造

第7節 農用地整備施設 該当なし

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

	面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠			
	事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
		計				
計						

(3-2)

(第23表-4-1)

項目 区分	排水渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

項目 区分	集水渠出口以下の排水施設		備考
	構造	数量 (m/ha)	
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土 該当なし

(2-1)

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)		客入土量 (m^3)	土取場土量 (m^3)	運搬距離 (km)
		事業名				
			計			
	計					

(第23表-5)

区分	項目	運搬方法	備考
	計		

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(2-1)

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種
	計				

(2-2)

(第23表-7)

区分	項目	植栽本数 (本)	備考
	計		

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m^3/s)	構造	備考
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
	形式	流域 (km ²)	提高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m ³ /s)	提頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備 考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備 考

2. 提体補強施設

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	2 年度
完了	令和	11 年度

第8章 環境と調和への配慮

1. 事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、現地調査結果を十分反映させた、環境への配慮に努めた計画を策定するものとする。

2. 工事実施における配慮

工事実施に当たっては、環境に負荷を与えるのを最小限におさえるための工法を検討し、地区外への影響がでないように留意して施工を行う。また工事期間中は、「赤土等流出防止条例」に基づいて、降雨時のシート被覆等により赤土等の流出防止対策を重点的に行う。

3. 貴重な動植物、文化財及び景観等への配慮

貴重な動植物、文化財及び名勝等は本地区には確認されていない。

現況農地や道路に貴重動物がいる可能性は少なく、いたとしても動物の自主的な退避により影響は少ないと考える。ただし、工事中に発見した場合は、近隣生息地域への移動等により対応していく。

第9章 換地計画の概要 該当無し

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当無し

第2節 換地区の設定 該当無し

1. 換地区の名称、所在、面積 該当無し

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

第3節 換地計画樹立の基本方針 該当無し

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準

2. 用途別予定地積 該当無し

(4-1)

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名 前後	用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地							
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計
						土地改良施設	その他	小計	
	従前の土地								
	換地								
合計	従前の土地								
	換地								

(4-2)

該当無し

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名 前後	用途 (取得予定者)	非農用地区域に換地する土地								
		本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			
		改良区	その他	計			宅地	その他	計	
	従前の土地									
	換地									
合計	従前の土地									
	換地									

(4-3)

該当無し

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名 前後	用途 (取得予定者)	非農用地区域に換地する土地						合計	国
		異種目換地	創設非農用地						
			農業経営 合理化施 設用地	生活上・ 経営上必 要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等	計		
	従前の土地								
	換地								
合計	従前の土地								
	換地								

(4-4)

該当無し

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名 前後	用途 (取得予定者)	機能交換に係る土地			一般国 公有地	総合計
		県	市町村 他	合計		
	従前の土地					
	換地					
合計	従前の土地					
	換地					

3. 農用地集団化の方針 該当無し

(第25表-4)

区分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当無し

(2-1)

(第25表-5)

区分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法

(2-2)

(第25表-5)

区分 換地地区	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法 該当無し

1. 評価の方法

2. 清算の方法

第5節 換地計画書樹立の年度計画 該当無し

(第25表-6)

区分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当無し

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		農業用排水施設 (千円)	備考
区分			
令和4年度 計画変更		1,382,881	R4年度単価 管水路 L=16,560m 給水栓 611基 緊急時対応分水工 1式
附帯工事		-	
計		1,382,881	
関連事業 (参考)	国営	2,389,514	国営伊江地区の面積按分事業費
	県営	2,070,987	
	非公共・村営事業	1,231,461	東江前1号ため池、ナガラため池、復帰1号ため池、浜崎ため池、マタため池
	計	5,691,962	

第11章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考	
農業用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	222,625	390,062		
		品質向上効果	191	191		
		営農経費節減効果	18,694	△ 758		
		維持管理費節減効果	△ 11,130	△ 8,906		
		営農土壌保全省力効果				
		国内農産物安定供給効果	20,139	20,139		
	農業の持続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果				
		災害防止効果(農業)				
		農業労働環境改善効果	15,979	-		
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)				
		地域用水効果	600	600		
		一般交通等経費節減効果				
		地籍確定効果				
		国土造成効果				
	多面的機能の発揮に関する効果	非農用地等創設効果				
		災害防止効果(公共施設)				
		水源かん養効果				
		景観・環境保全効果	21,267	-		
	その他効果(赤土等流出防止効果)	都市・農村交流促進効果				
		その他効果(赤土等流出防止効果)				
	合 計			288,365	401,328	

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	5,897,583 千円	
当該事業による費用	①	1,117,867 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	4,779,716 千円	
年償還額	④	- 千円/年	
うち機能向上分	④'	千円/年	
年総効果(便益費)額	⑤	288,365 千円	
現況年総農業所得額	⑥	278,815 千円	
年増加農業所得額	⑦	401,328 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		50 年	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	5,989,807 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧/③	1.01	
総所得償還率	⑩=④/⑥×100	- %	
増加所得償還率	⑪=④'/⑦×100	- %	

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
異種	国営かんがい排水事業	国	667.5	伊江地下ダム、取水施設、揚水機、用水路、1号ファームポイント、2号ファームポイント、水管理施設

第13章 現況・計画平面図 (別紙のとおり)

1. 計画平面図

2. 主要構造図